# 視聴覚教育時報

## No.734 2022年 10月号

### contents

▽視聴覚センター・ライブラリー担当者情報交換会 参加者募集(11月11日(金) 開催)

▽視聴覚教育・放送教育全国大会合同大会 生涯学習部会について

▽講師派遣事業 令和4年度 岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会

▽全国視聴覚教育連盟 功労者表彰を受賞して

▽視聴覚教育・放送教育全国大会合同大会・2次案内について—大会サイトオープン— ▽えすけーぷ

#### ▽視聴覚センター・ライブラリー担当者情報交換会 参加者募集(11月11日(金) 開催)

当連盟では、11月12日(土)開催の全国大会の前日の11月11日(金)に、今年度の調査研究事業2「オンラインによる視聴覚センター・ライブラリーのネットワーク構築に向けた調査研究」の一環として、視聴覚センター・ライブラリーの職員を対象に、Zoomによる情報交流会を実施することとなりました。

ぜひこの機会に日頃の課題や、疑問に思うことなどを話し合ってみてはいかがでしょうか?たくさんの方々のご応募をお待ちしております。

#### 1. 日程

11月11日(金)14:30~16:00 (視聴覚センター・ライブラリーの勤務時間に合わせて、全国大会前日の金曜日の 午後90分間)

#### 2. 内容

①Zoom による)情報交換会の趣旨説明

- ・令和3年度のセンター・ライブラリー調査の概要説明(30分)
- ②エリアに分かれて自己紹介と各センター・ ライブラリーの課題を共有する
- ブレイクアウトルームの数と割り当てはあらかじめ参加申込を受付けて指定する。 (40分)
- ③各ブレイクアウトルームのまとめを行う (5分)
- ④全体に戻って、各ブレイクアウトルームの 様子を報告してまとめとする(15分)

#### 3.参加者

• 進行: 村上専門委員長

• 運営: 丸山副専門委員長

発言:視聴覚センター・ライブラリー職員

4. 申込締切

11月8日(火)

5 申込先

メールにて所属、氏名(話し合いたいテーマがあればテーマも)を下記までお送り下さい。info@zenshi.jp

#### ▽視聴覚教育・放送教育全国大会合同大会 生涯学習部会について

令和4年度視聴覚教育・放送教育合同全国大会は、時代に即した視聴覚教育・放送教育に関するワークショップ・セミナー、全体会、実践発表、教材・機材展示などを行い、最新の視聴覚教育・放送教育、ICT教材・機器に関する情報を参加者に提供することを目的に開催します。今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和4年11月12日(土)にオンラインにより実施します。生涯学習部会の実践発表やセミナーの内容が下記のように決まりましたので参照下さい。

#### <生涯学習部会(全視連担当)>

#### 1. 基本方針

令和3年度の調査研究の結果を生かすとと もに、令和4年度の調査研究に反映させられ る内容とします。視聴覚センター・ライブラ リーがデジタル時代に対応した活動を進める にあたって、市販教材の貸し出しにとどまら ず、自作教材の制作とデジタル配信が必要に なってくるため、それらを中心テーマとしま す。

#### 2. 日程と内容

①開催日 2022年11月12日(土)

②時程と内容

10:00~12:00 セミナー

12:15~12:45 全体

会

13:30~15:10 実践発表•2事例

#### 3. セミナー

自作教材の制作とデジタル配信に関して、 デジタルアーカイブという視点から講義と質 疑応答を行います。また、近年、視聴覚セン ター・ライブラリーの保有する教材に関して 廃棄や移管に関する問い合わせが増えている ため、手続き方法を含めた解説の時間を設け ます。

- ①「視聴覚センター・ライブラリーとしてデジタルアーカイブにどう取り組むか」 講師:坂井知志氏(日本デジタルアーキビスト資格認定機構理事)(90分)
- ②視聴覚教材の廃棄と移管手続きの考え方と手続き方法(30分)

#### 4. 実践発表

2 事例各 40 分(発表 25 分+質疑 10 分 +補足説明 5 分)

- ①近藤雄一氏(岡崎市視聴覚ライブラリー) 「岡崎市視聴覚ライブラリーにおける自作 視聴覚教材の取組み一教材を発信し続ける 視聴覚ライブラリー―」
- ②山本俊之氏(富山県民生涯学習カレッジ) 「郷土学習教材の作成、映像のシリーズ化と デジタル配信」



#### ▽講師派遣事業 令和4年度 岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会

令和 4 年度の全視連の講師派遣事業を活用 して、全視連講師の坂井知志氏(日本デジタル アーキビスト資格認定機構理事)の講演が標記 研修会において実施されました。

- 1. 日時 6月 23 日(木) 13:00~15:40
- 2. 主催 岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会
- 3. 会場 岩手県立図書館(ミニシアター、研修室)
- 4. 参加者 岩手県内各地域視聴覚教育協議 会・ライブラリーの専任職員等6名、 事務局2名
- 5. 講師 坂井知志氏(日本デジタルアーキビスト資格認定機構理事)
- 6. 講演内容
- ①講話「デジタルアーカイブの諸課題とこれ からの視聴覚教育」
  - ・デジタルアーカイブとは
  - デジタルアーカイブの進展
  - デジタルアーカイブの課題
  - デジタルアーカイブとこれからの視聴覚 教育
  - ・補足(保証金制度、SARTRAS の理解)

#### ②情報交流会



オンラインで講義を行う講師の坂井講師



講義を受ける受講者

#### 7. 所感

講話では、デジタルアーカイブの諸課題とこれからの視聴覚教育について、希望した内容を取り上げていただきながら分かりやすくご講義いただいた。デジタルアーカイブについては、デジタルデータの長期保存の方法や、16mm や VHS などの貴重な歴史を未来へ残すことの重要性についてわかりやすくご説明いただいた。特に、視聴覚教育でできることとできないこと(味覚や嗅覚の感知)を理解していくと、まだ視聴覚教育にはやり残している役割があるといったお話が心に響いた。

情報交流会では、各ライブラリーの現状と 課題について情報を共有した。特に、16mm 映写機の点検や整備について、部品の生産の 問題や対応できる業者の高齢化等について喫 緊に対応したいことが確認された。今後は業 者に依頼し、技術継承を目的とした軽微なメ ンテナンス方法の動画作成なども提案された。 2年ぶりに参集し、中央講師のオンライン講義 により、各ライブラリー同士の情報交流を実施 した。アンケートを見ると満足度が高く、充実 した研修会となった。

#### ▽全国視聴覚教育連盟 功労者表彰を受賞して

今年度の功労者表彰受賞者6名のうち2名 の方々より受賞の喜びの声が届きましたので ご紹介します(青森県・坂本 徹氏、新潟県・ 吉田 理江子氏)。

#### ●青森県・坂本 徹 氏

「若者たちと共に」

この度は身に余る賞をいただき真に光栄に存じます。地道な活動を評価していただいたことを嬉しく思うとともに、これまで一緒に視聴覚教育に携わってきた多くの方々に感謝申し上げます。

退職して6年目。仕事の上では視聴覚教育から離れましたが、今も高校生や大学生と一緒にカメラや三脚を担いで青森の魅力を映像で発信する活動に取り組んでいます。チャレンジチームと名付けたメンバーは30人ほど。月に2回ほどの活動日にはエネルギッシュな若者たちが集まって来ます。今年で4年目になりますが、その活動の一端をご紹介したいと思います。

5月~7月は基礎研修。青森の魅力をテーマに「誰に」「何を」「どんな風に」発信するのかをワークショップで煮詰めていきます。





並行してポジションやアングル、カメラワーク、音声処理などの技術の習得です。アナログからデジタルに変わっても基本は変わりません。30年前の視聴覚教育講座を思い出しながら手ほどきしていきます。

8月には、映画監督の林弘樹氏や脚本家の 栗山宗大氏の協力を得て、映画制作実習を行いました。プロの手法に接することはとても 貴重な体験です。

そして9月。いよいよ本番です。23の自作ストーリーの中から4作品を選び、ショートムービーの制作に挑みます。共通のテーマは「バケモノ来りて」ですが切り口は様々。心に住むバケモノを扱うなど、若者らしいフレッシュさと鋭い感性を感じます。原作者とは異なる者が脚本を書き、さらに別の者が監督を務めることとし、キャストや撮影・編集など、すべてを自分たちで分担します。本稿執筆時点で、既に脚本が完成し、ロケハンや台詞の読み合わせ、小道具の作成にかかっています。10月に入るといよいよ撮影。その後、編集期間を経て12月ごろに完成予定です。

制作を通して、企画力や実践力、発信力等を 高めるための教育活動。これからも楽しみなが ら取り組んでいきたいと思います。

#### ●新潟県・吉田 理江子 氏

「魚沼視聴覚センター徒然」

平成 16年、乳飲み子を抱えて高校の数学 講師をしていた私に、「視聴覚主事がいなくな るから、パソコンを教えられる人が必要だ」 と誘いの声が掛かりました。通勤5分という 好条件に惹かれ足を踏み入れた視聴覚教育の 世界に、まさか13年間も捕らわれることに なろうとは。時はデジタル情報社会へ激動の 変遷期、視聴覚センターは貴重なアナログ資 料を守りながらも、情報教育を推進する新た な教材・機器や研修機会を提供する役割を担 っていました。

とは言え、着任直後に直面した課題は業務 の効率化です。折しも町村合併と中越地震が 重なり、予算・人員の削減は必然でした。そ こで、まず経理に関する手書の伝票・帳簿類 を片っ端からデータ化、次いで教材・機器貸 出管理の専用ソフトウェアを自作し、予約受 付から配送手配までを一元化することで、関 連業務の大幅な時間短縮に成功しました。

それからがやっと、視聴覚センター専門員 としての学びの時間でした。門外漢の私に視 聴覚教育の何たるかを教えてくれたのは、県

内に 13 施設あった視聴覚ラ イブラリーの先輩方です。特 に佐渡の高橋利雄氏と三南の 田辺名号子氏には薫陶を受け、 DVD 教材の共同制作等を通 じて撮影・編集の勉強もさせ ていただきました。

また、お二人に倣い「来た 依頼は断らない」をモットー



2012 年夏に開催したエクセル研修会の様子

に、地域映像資料のアーカイブスや AV 機器 のオペレータ、パソコン研修会の講師は言う までもなく、市役所や学校の公務を助ける各 種ソフトウェアの制作にも尽力しました。特 に小・中学校用の校務支援ソフト群は好評で、 県内の多くの自治体から利用申請があり、退 職後の現在も個人で支援を続けています。

今回の受賞は、一緒に魚沼視聴覚センターを 支えてくれた歴代の事務員さん、そして家でも 仕事浸けの私を許し励ましてくれた子ども達 に捧げます。現在私は業種の異なる民間企業に 籍を置いていますが、SDGs の時代、職務の先 に公共の利益を思う姿勢は官民問わず必要だ と感じています。



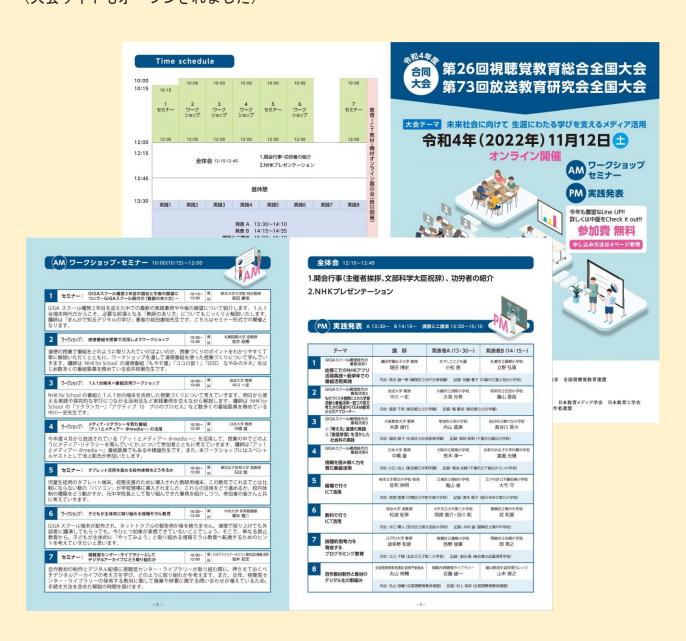
5

#### ▽視聴覚教育・放送教育全国大会合同大会・2 次案内―大会サイトオープン―

令和4年11月12日(土)にオンラインに て開催の第26回視聴覚教育総合全国大会第73回放送教育研究会全国大会合同大会の2次 案内を作成いたしました。すでに全国の関係先 へ送付させていただいております。 日本視聴覚教育協会 HP や全国放送教育研究 会連盟 HP など関係団体では HP にて2次案内 をダウンロードできるようになっております。 ぜひ参加申し込みいただきたく、よろしくお願 いいたします(申込締切11/11(金))。

https://www.javea.or.jp/soutai/index.html (大会申込サイト・二次案内ダウンロードページ)

https://www.ave-hoso-2022.net/ (大会サイトもオープンされました)



#### ▽えすけーぷ

前回紹介した『映画はアリスから始まった』 (監督:パメラ・B・グリーン、製作:ロバ ート・レッドフォード ほか、ナレーション: ジョディ・フォスター)を見てきました。

映画初期の立役者でありながら、その存在 を忘れ去られていたことが不思議でしたが、 単に忘れ去られたのではなく、意図的に消し 去られたり、監督をした作品が違う監督の作 品として伝えられてきたりということが平然 と行われてきたことに驚きました。そこには 男性優位社会の中でのジェンダーの問題もあ ったことでしょう。

しかし、映画を見てさらに強く感じたこと は、アーカイブの重要性ということでした。

アリスの失われた映画を若手のアーキヴィ ストたちが世界中のアーカイブスを探し回っ て発見したという働きなくしては、アリスの 復権は実現しなかったでしょう。

例えば、アリスが映画史初の物語映画の監 督であるという事実も、その映画の現存する プリントが 1901 年版だったために疑問視 されていたそうですが、1996年にスゥーデ ンで見つかったプリントの中の1本が同作の 1896 年版だと判明したことでようやく認 められたということです。

世界中に数多くの映像のアーカイブスが存 在し、様々な映像がリストアップされて保管 されているからこそ、映画最初期の女性映画 監督の功績が歴史の闇から目に見える形で復 活できた訳です。

毎年、各地の視聴覚センター・ライブラリ ーで 16 ミリフィルムやビデオテープが廃棄 されています。一度廃棄されればもう戻って きません。利用がない、保管スペースがない、 組織がなくなるといった状況ではあると思い ますが、16 ミリフィルムやビデオテープの アーカイブということを考えていく必要性を 強く感じました。

今年度の視聴覚教育総合全国大会の全視連 のセミナーでは、映像のアーカイブスの必要性 をずっと訴え続け、日本デジタルアーキビスト 資格認定機構理事を務めていらっしゃる坂井 知志先生を講師にお迎えして「視聴覚センタ ー・ライブラリーとしてデジタルアーカイブと どう取り組むか」というテーマで学ぶ予定です。 多くの皆様のご参加をお待ちしています。 (T. M)

全国視聴覚教育連盟 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル TEL: 03-3431-2186/Fax: 03-3431-2192 HP: http://www.zenshi.jp/

Mail: info@zenshi.jp

## 東映 教育ソフト Ming=III

#### 社会・道徳・特別活動

#### 自分ごとSDGs

SDGsに取り組んでいる 人たちのインタビューを 見て、身の回りにある身 近なものからSDGsに ついての考えを深めて いきます。SDGsの基礎 知識を学ぶだけではなく、 SDGsを自分ごととして 捉え、行動していくきっ 「指導案」「ワークシート」あり かけとなる教材です。



(22分) 72,600円(税込) 学校特別価格 36,300円(税込)

#### 道徳・特別活動

#### 性の多様性とLGBTQ+ ~誰もが自分らしく生きるために~

「性のあり方」についての基 礎知識をわかりやすく解説 しながら、典型的でないとさ れる性のあり方の人たちへ のインタビューを頂して、性 には様々な形があることや、 性的マイノリティを取り巻く 実状についても伝えます。

監修:一般社団法人fair



字幕版付き 解説書あり

(28分) 72,600円(税込) 学校特別価格 36,300円(税込)

#### 家庭・保育

## 「映像で学ぶ 幼児の発達と生活シリーズ」全3巻

#### 第1巻 幼児の心身の発達(24分)

乳幼児の発達がどのような過程で進んでいくのか、体の 発達と心の発達、2つの視点で解説します。

第2巻 幼児の生活の特徴と家族の役割(23分) 乳幼児期の子供の生活の特徴と家族の役割について解説

#### 第3巻 幼児と遊び(20分)

乳幼児期の子供の姿を見ながら、「遊び」の特徴や意味に ついて解説します。





各巻 72.600円(税込)

3巻セット 198,000円(税込) 学校特別価格 36,300円(税込) 学校特別価格 99,000円(税込)

#### 道徳・特別活動・防犯

## 「スマホは情報モラルが大切」全2巻

第1巻 ネットいじめをしない!SNSでの出会いに気をつけよう!(25分)

#### 第2巻 もう一度よく考えよう!写真や動画の投稿(18分)

1巻で「ネットいじめ」「SNSでの出会い」、2巻で「個人情報流出」「炎上」をテーマと して取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成しています。スマホを使ってSNSを 利用するには、情報モラルを身につけ、よく考えた上でメッセージや写真や動画を投 稿することが何よりも大切であることを伝えます。

各巻 72,600円(税込) 2巻セット 132.000円(税込) 学校特別価格 36,300円(税込) 学校特別価格 66,000円(税込)



お問い合わせ・チラシ請求は -

🕿 03 (3535) 3631 FAX03 (3535) 3632



https://www.toei.co.jp/edu/ 教育映像検索

東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

http://www.toei.co.jp/edu/